

# ふくおか@ふくし

Welfare of Fukuoka

ふくおかのふくし  
ふくおかのふくし 190号 発行所/福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県社会福祉協議会  
TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日/2023年(令和5年)9月29日 編集発行人/酒見俊夫 印刷所/株式会社インテックス福岡



ポスター及び赤い羽根キャッチフレーズ等  
記者発表の様子(関連記事8頁)

## 今号の内容

- P 1 令和5年7月豪雨災害被災地支援レポート
- P 5 地域ボランティア活動支援のための助成事業助成団体決定
- P 6 キラリ☆地域のふくしびと
- P 7 赤い羽根共同募金
- P 9 ふくふくINFO

じぶんの町を良くするしくみ

### 赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の  
配分金を受けて発行しています。

令和5年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン			
	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)			
<b>年間保険料</b>				
	350円	500円	550円	

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

### <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行幸用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

## 令和5年7月7日からの 大雨災害への寄付・寄贈

令和5年7月7日からの大雨による被災者支援のため、県内災害ボランティアセンターの活動に対し、様々な寄付・寄贈をいただきました。寄付・寄贈いただいた飲料水や資材等は、県内災害ボランティア活動等に活用させていただきました。誠にありがとうございました。

### 【寄付・寄贈者一覧】

- ・エフコープ生活協同組合様
- ・日本赤十字社福岡県支部様
- ・九州アサヒ飲料株式会社様
- ・コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様
- ・ダイドー・ドリンコ株式会社様
- ・株式会社伊藤園様
- ・命の水作戦様
- ・沖縄県社会福祉協議会様
- ・迫田食品株式会社様
- ・株式会社オーパーツ様
- ・コープこうべ災害緊急支援基金運営委員会様
- ・兵庫県社会福祉協議会様
- ・ライオンズクラブ国際協会337-A地区様

※順不同

※この他、個人様からの寄贈や県内外問わず様々な関係団体・企業等から活動に使用する資機材等の貢与のご協力をいただきました。

(8/31現在)



ボランティアの皆さまをはじめ、関係機関・団体の方々からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます

ボランティア活動者数

**10,438**

ボランティア活動件数

**1,470**

応援派遣協力社協職員数

**441**

(8/31現在)

## 令和5年7月 豪雨災害 被災地支援レポート

令和5年7月7日からの大雨により、県内各地で甚大な浸水被害や土砂災害が発生しました。

県内10市町村で災害救助法が適用となり、特に被害の大きかった久留米市・うきは市・朝倉市・那珂川市・広川町・東峰村では災害ボランティアセンター等(以下、「災害VC」という。)が設置され、地元社協を中心に被災者支援を展開しました。

今号では、本会災害救援本部における対応、支援活動を報告するとともに、今回の災害を通じての気づきや、今後活かしていくことなどを各被災市町村社協に聞きました。

### 人とモノの支援

福岡県社協では、7月10日に常務理事を本部長とする災害救援本部を設置し、県内市町村社協や外部支援団体等の協力を得ながら、被災地社協の後方支援を行いました。災害救援本部では、被害が大きな地域への職員派遣を行うとともに、県内外市町村社協に備蓄している資材の貸出可否の確認、不足している資材の手配等を行いました。土嚢袋や飲料水等は、災害VC運営支援に関する協定に基づき、関係団体からの寄贈、携帯電話・PC等の通信機器は企業から無償貸与、さらには、平時から災害に備えて災害VC設置運営訓練等の研修に参加いただいている関係企業から車輛等の資機材の提供や運営支援者として継続的な人材派遣の協力を得ました。

また、被災地社協との連絡を密にし、災害VCの運営スタッフとして、県内社協職員の派遣調整を行い、特に被害が大きかった久留米市には、九州・中国ブロックから社協職員の応援派遣をいただくなど、現地のニーズに応じて人とモノの支援・調整を行いました。

### ICTの活用

今回の災害では、災害VCの運営にICTの活用が多く見られました。

ほとんどの災害VCで事前または当日のボランティア登録にGoogleフォームを導入・活用したほか、久留米市災害VCでは、「kintone(キントーン)」を使用し、当日の受付やボランティアニーズの進捗状況を管理しました。キントーンを使用したことで、ニーズ受付を本所で行い、離れた場所に設けた活動拠点(サテライト)との情報共有や現地調査内容をその場でデータに反映させたり、可視化することができました。

### 情報共有・情報発信の支援

災害時は関係機関・団体との迅速な情報共有と外部への情報発信が重要です。今回の災害ではZOOMを活用した情報共有会議を行い、被災地の行政や災害VC、各支援団体とのタイムリーな情報共有に努めました。

また、近年は、円滑な災害VC運営のため、ICTを活用したボランティア登録やSNSによる情報発信が広まっています。Googleフォームを使ったボランティア登録の活用やSNSに慣れていない災害VCには、本会職員が利用方法やSNSの開設・投稿を支援しました。また、Amazonの欲しいものリストを活用した資機材等の確保も行い、業務の効率化や迅速な情報発信に繋がりました。

### 平時が大事

県内では毎年のように災害が発生していますが、今回の災害においても平時の取組を活かし、県内市町村社協をはじめ、県内外の多くの関係機関・支援団体、ボランティアの方々に協力いただき、被災地社協への支援並びに被災された方のいち早い生活の復旧・復興に向け、支援活動が行われました。

また、今回の災害VC運営の特徴としては、被災の規模や災害VCの状況等を踏まえ、ICTを導入したことで、作業の効率化や情報共有が図られたことです。活用目的を明確化したICTの導入により生み出された時間を有効に使用して、被災者に寄り添った必要な支援を考えていくことが大切となります。

本会では今回の被災地社協支援の経験を活かし、今後も市町村社協、行政、支援団体・関係機関、地元企業、地域住民等が日ごろから連携・協働できる関係性を築き、地元を主体とした地域協働型による災害VC運営を支援していきます。

東峰村

7/13 開設～



被災してすぐに、平成29年の九州北部豪雨災害時に協力いただいた団体から駆けつけてくれたボランティアを職員と訪問し、依頼内容や緊急性など専門的な視点から確認できたことや、その内容をすぐにデー...

ページやSNSを活用し情報発信できる職員がいたことが、限られた職員でもスムーズな初動ができた要因だと思います。

今回の災害は、近隣の市町も被災したため、ボランティアが分散された中、前回の災害から引き続き農地復興にも関わっていただいたボランティアの方々との繋がりがあったことや、準備段階から継続して近隣社協の協力が得られていたことが、災害VCを運営するうえで、とても大きな支えになったと感じています。

被害状況・活動data

家屋損壊 33件
床上浸水 16件
床下浸水 17件
二一ズ件数延べ 67件
VO活動者数 536名

広川町

7/12 開設～9/10 閉所



広川町では初めて公設での災害VCの設置となり、近隣社協からの職員派遣や資機材の支援、さらには県内外を問わず多くの団体や関係機関より運営に伴う支援をいただきながら活動を進めていきました。

地元社協として、被災者に寄り添う活動を心がけ取り組んでいました。立ち上げ時における情報収集や発信、被災状況に対する活動の見立て、ボランティア事前登録や事前マッチングの方法など、日々、試行錯誤の連続でした。

災害時のボランティアは、人と人、心と心がつながることで活動が生まれます。今回の災害VC運営を通して、社協自身も平時からの「つながり」を深めることも、「受援力」を高めていく必要があると感じてきました。

被害状況・活動data

家屋損壊 80件
床上浸水 64件
床下浸水 107件
二一ズ件数延べ 93件
VO活動者数 1,355名

那珂川市

7/11 開設～8/1 閉所



今回の災害VCの運営を振り返ると、経験不足から十分な準備ができていないことを迎えたため、受付からマッチングまで多くの課題が見られました。週末型で運営していたことから、活動日までにホワイトボードを使用して情報共有...

を図ったり、ボランティアの待機場所を変更するなど、少しずつ課題を改善しながら、全部署に協力を呼びかけ、本会職員と応援社協職員の協力を得て、災害VCの運営ができました。

元住民の協力や近隣の社協が地元でボランティアを募って応援にきてくれたことなど、災害VCの運営を通じて、市と社協、地域の方々と協働・連携できる関係、体制づくりの大切さを改めて感じました。

被害状況・活動data

家屋損壊 4件
床上浸水 2件
床下浸水 59件
二一ズ件数延べ 18件
VO活動者数 153名

朝倉市

7/10 開設～



市内の被災状況や被災者の依頼件数を踏まえ、今回は行政と協働し災害対策ボランティア活動本部の運営を行いました。

主な運営としては、ボランティアの依頼ごとに職員を配置し、ボランティアの受付やオンラインセッションを行い、ボランティアと共に活動しながら、被災者や近隣の状況も確認しました。

ことで、改めて現地確認を行う必要がなくなり、部署の垣根を超えて職員一人ひとりが主体的に災害対策ボランティア活動本部の運営に携わったことで、全体としての経験値を上げることもつながりました。

被害状況・活動data

家屋損壊 73件
床上浸水 44件
二一ズ件数延べ 71件
VO活動者数 610名

うきは市

7/12 開設～8/10 閉所



今回の災害は、前回被災した11年前とは違い、行政との連携や近隣社協、専門技術を持ったボランティア団体、社会福祉法人連絡会等から支援・協力いただき、日頃からのつながりを活かして、準備から閉所まで協働で災害VCの運営が...

できたように感じています。また、ボランティア活動に職員が付き添うアテンド方式で活動したことにより、被災者の依頼内容とボランティア活動の調整や継続支援の判断などが統一した基準でスムーズにできました。

運営スタッフの入れ替えや情報が日々変化するため、夕方ミーティング時に報告される各班の状況や課題の内容をまとめた「運営スタッフかわら版」を毎朝配布したことが情報共有の手段としてとても有効でした。

被害状況・活動data

家屋損壊 51件
床上浸水 40件
床下浸水 400件
二一ズ件数延べ 152件
VO活動者数 710名

久留米市

7/11 開設～



久留米市では毎年のように水害が発生しています。今回は市内の浸水被害が広域であり、さらに土砂災害も発生したことから、特に被害の大きかった地区にサテライト(支所)を設置し、災害VCの運営を始めました。

また、本会が実施している重層的支援体制整備事業の機能を活かした「個別支援班」を設置し、現地調査を行う中で生活課題を抱えていると思われる被災者には、依頼内容とは別に気になる点を記載し個別支援の必要性を確認...

認りました。災害VCの運営が長期化する中、時間の経過とともに変化する業務の質や量に際して、県内社協や地元企業、NPO等の支援を得ながら班編成や組織体制の変更を行い、職員の負担の軽減に努めました。

被害状況・活動data

家屋損壊 873件
床上浸水 902件
床下浸水 1,545件
二一ズ件数延べ 740件
VO活動者数 7,074名

# シリーズ キラリ★地域の ふくしびと

Vol.21

このコーナーでは、福岡県内でふくしの仕事に携わる人の声を紹介していきます。今回は、「ふくおかライフレスキュー事業(※)」参加法人の職員にインタビューを行います。

「ふくしの仕事を始めたきっかけは？」

専門学校を卒業後、旅行会社に就職しました。来店された高齢者の方との会話や、助産師をしている妻から仕事の話や、聞く中で、高校時代に進学先の一つとして考えていた「福祉・介護」のことを思い出しました。

## 西部ガス株式会社・一般財団法人福岡県職員互助会・福岡県社協による「地域ボランティア活動支援のための助成事業」の令和5年度助成団体決定



西部ガス株式会社末次総務広報部長(前列中央左)、一般財団法人福岡県職員互助会塚野常務理事(前列中央右)、福岡県社会福祉協議会徳永常務理事(前列中央)

本会では、西部ガスホールディングス(株)、(一財)福岡県職員互助会とともに、標記事業を実施しています。この事業は、住民参加型の地域活動を促進し、人にやさしい社会づくりに資することを目的に、広く社会貢献の心をもってボランティア活動を実施している団体等に対して、1団体あたり最大30万円(2年間)の助成を行っているものです。

令和5年度は、申請があった各団体へのヒアリングや外部有識者等で構成する助成事業審査委員会による審査を経て、23団体への助成が決定し、去る6月26日、クローバープラザにおいて、決定通知書交付式を執り行いました。本助成が福岡県におけるボランティア活動の一層の振興・発展につながることを期待しています。

### 助成団体一覧

#### ■西部ガスボランティア助成プログラム(3団体)

団体名	市町村
特定非営利活動法人徳の樹	福岡市
なかま音訳の会	中間市

団体名	市町村
子どもの野外活動をすすめる会	古賀市

#### ■一般財団法人福岡県職員互助会ボランティア助成プログラム(10団体)

団体名	市町村
聞き書きボランティア「平野塾」	北九州市
NPO 法人ゆい	福岡市
美しが丘北地域猫サポートびきにゃん	筑紫野市
大野城要約筆記の会「びあ」	大野城市
大野城学習支援室・かぼちゃ	大野城市

団体名	市町村
伊田商店街子どもを応援する会	田川市
子育てサポートろっきー	筑後市
子どもカフェ in ちくご	筑後市
NPO 法人ふれあい広場上山田駅	嘉麻市
糸田町子ども食堂	糸田町

#### ■社会福祉法人福岡県社会福祉協議会ボランティア助成プログラム(10団体)

団体名	市町村
どっこいしょ会	水巻町
特定非営利活動法人三沢遺跡の森を育む会	小郡市
太宰府市傾聴ボランティア「ロバの耳」	太宰府市
大宰府史跡解説員くすのき会	太宰府市
古賀市「こもこも」ネットワーク	古賀市

団体名	市町村
黒崎がたいね踊り保存会	大牟田市
上伊田西地域ネットワーク委員会	田川市
ボランティア黄金川会	朝倉市
音訳いづか	飯塚市
読み聞かせの会「パピルス文庫」	川崎町

問い合わせ先 地域・ボランティアセンター TEL 092(584)3377

### 現在の担当業務について

もっと人との関わりを持てる仕事したいという思いが強くなり、退職後、高齢者施設で介護職として福祉の道をスタートしました。

その後、縁あって飯塚市社会福祉協議会で介護支援専門員として働くこととなりました。5年後に地域課へ異動し、現在は、日常生活自立支援事業の専門員、生活支援コーディネーター、ライフレスキュー事業、重層的支援体制整備事業移行準備事業などを担当しています。

高齢者福祉施設に勤めていた時に介護福祉士や介護支援専門員の資格を取得する中で、福祉に関する勉強をしてきたつもりでしたが、社協の取組・事業に関わる対象者の幅の広さに驚きの連続でした。面接時に当時の局長から「地域福祉活動向きの性格をしている」と言われたことを思い出しますが、地域全体を広い視野で見ることの大切さや、様々な地域課題に対応できるように多機関とネットワークを構築する大切さなどを実感しながら、自分の引き出しを増やすべく自己研鑽を重ねています。

### 仕事のやりがいや、大事にしていることは？

「自分の心と体が元気であること。そして、共に働く仲間の心と体が元気であること」を大事にしており、自分たちが元気でないとい地域の方々も安心して相談できないだろうと思っています。また、相手との距離感を意識し、自分から距離を詰めるよりも、相手から寄り添ってもらえるような対応をすることや、自分たちだけでは解決できないときに、ライフレスキュー事業の法人や関係機関に「助けてください」と声をあげて協力してもらうことを日頃から大事にしています。

### めざす「ふくしびと」とは？

地域の方々には、「何か困ったことがあったらとりあえず高野に相談しよう。高野に悩みごとを話したら安心する」と言われるような存在をめざしています。

また、市内の他機関事業所や多くの市町村社会福祉協議会の方達とつながりを持ち、その人たちにハマれるような「ふくしびと」になりたいです。

## 地域でも職場でも 明るく照らす存在でありたい

高野 大介 さん  
たかの だいすけ

事業所名：社会福祉法人  
飯塚市社会福祉協議会  
役 職：地域課 係長

※ふくおかライフレスキュー事業では、福岡県社会福祉法人経営者協議会を中心に、複数法人の連携によって生計困難者等に対する相談支援事業を行っています。





**赤い羽根 心がつながる 支えあい**  
赤い羽根共同募金

一般募金 10月1日～12月31日  
週末たすけあい募金 12月1日～12月31日  
10月1日～3月31日

社会福祉法人 福岡県共同募金会  
福岡県春日市春日3-1-7 クローバープラザ6階  
TEL 092-584-3388 FAX 092-584-3386  
HP <https://fukuoka-kyuubin.jp/>



ハリーホーク コラボバッジ  
今年の鷹の祭典ユニフォームを  
着用したオリジナルバッジです。

去る8月31日に福岡ベイパイドームで、ポスター・キャッチフレーズ等の記者発表を行いました。今年の最優秀作の作者である近藤さんからは、「困っている人たちを赤い羽根共同募金を通して一緒に支え合うことができた」とキャッチフレーズに込めた思いを話していただきました。また、昨年から赤い羽根応援大使を務めていただいている福岡ソフトバンクホークス笠谷俊介選手とリチャード選手には、本県における共同募金運動の顔となって広報啓発等に協力いただきながら、本会の共同募金運動を推進していきます。

**福岡ベイパイドームで記者発表会を行いました**

**10月1日から「共同募金運動(77回目)」が始まりました**



**赤い羽根 心がつながる 支えあい**  
赤い羽根共同募金

令和5年度赤い羽根キャッチフレーズ最優秀作品賞  
糸島市立志摩中学校3年 近藤 咲希さんの作品



**今年も共同募金運動が始まりました**

共同募金運動は、民間の福祉活動を支援するため、住民主体の自主的な活動として、昭和22年に全国一斉に「国民たすけあい運動」として始まり、今年で77回目を迎えました。

皆様からご協力いただいた募金は、その約75%が集められた地域(市区町村)に還元され、様々な福祉課題の解決を目指して実施される福祉活動に活用されることとなります。具体的には、令和5年7月の豪雨災害等大規模災害におけるボランティア活動の支援をはじめ、「高齢者の見守り・訪問」や「子育て支援」、「障害者の自立支援」などの地域で行われる様々な福祉活動だけでなく、「福祉施設の施設整備」等、地域の福祉活動支援に幅広く活用されます。

これら共同募金の使いみちについては、中央共同募金会ホームページ(赤い羽根データベース「はねっと」)で公開しています。

赤い羽根データベース「はねっと」



**令和5年7月 豪雨災害の支援について**

令和5年7月7日からの大雨による被害が多数発生し、県内では久留米市他5市3町1村に災害救助法が適用されました。

本会では、被災地支援を行う災害ボランティアセンター等の運営に役立てていただくため、センター等を設置した久留米市、うきは市、朝倉市、那珂川市、広川町、東峰村の6市町村に災害等準備金を拠出しました。

この準備金は、皆様からお寄せいただいた募金の3%を常に3年間分積み立てており、近年頻繁に起こる地震や台風、大雨等の災害時において、被災者を支援するために役立てられています。



**災害義援金のご寄付ありがとうございました**

**皆様のご理解とご協力を  
よろしくお願いいたします**

本会では、毎年、民間の福祉活動を行う団体などからの申請に基づき配分計画を立て、その計画をもとに「目標額」を掲げて募金活動を行っています。

しかし、共同募金運動を取り巻く環境は厳しさが増しており、本県の募金実績は全国同様、平成11年をピークに年々減少が続いている中、ここ数年はコロナ感染症や、物価高騰の影響を大きく受けたこともあり、厳しい結果が続いています。

このような状況においても、共同募金についての理解や共感を高めるとともに、自分たちも地域の一員であるという意識や責任感を持つてもらえるよう、毎年、県内の小・中・高校・特別支援学校を対象に「赤い羽根キャッチフレーズ」を募集しています。今年は、44の学校から5,300点の応募をいただき、その中から、糸島市立志摩中学校3年の近藤 咲希さんの作品を最優秀作品に決定し、今年のパスターやチラシ等に掲載するなど、共同募金運動の広報・啓発に活用しています。

**お預かりした義援金は、福岡県を通じて、被災された方々にお届けさせていただきます。**

令和5年8月24日に、福岡銀行を代表して常務執行役員橋爪 政博様(写真左)が本会を訪問され、SDGs私募債発行による収益の一部を災害義援金としてご寄付いただきました。



令和5年8月31日に、福岡ソフトバンクホークス球団と選手会の皆様から、令和5年7月に発生した大雨災害により甚大な被害を受けた福岡県、佐賀県、大分県の皆様に対し、災害義援金をご寄付いただきました。



**福祉用具体験  
セミナーを  
開催します**



開催日 11月2日(木)  
場所 クローバープラザ(春日市)  
参加費 無料

内容  
【講演/10時~12時】  
・講師 日本福祉用具供給協会  
九州・沖縄ブロック  
湯脇 稔氏  
・テーマ 福祉用具の安全な利用  
促進、サービスの質の向  
上について

申込 事前申し込みを  
右記QRコード  
からお願いします



【福祉用具体験(展示会)/12時~  
15時30分】  
・55社のメーカーによる最新の福  
祉機器の展示や商品の実演  
※入退場自由(体験のみ参加可)

【問い合わせ先】  
福岡県介護実習・普及センター  
TEL 092(584)3351



**案 内**

**福祉のしごと就職  
フェアin京築を  
開催します**



福祉・介護分野の求人法人と求  
職者がマッチングする就職フェアを  
下記の日程で開催します。

日 時 10月29日(日)  
10時~12時  
場 所 ウィズゆくはし(行橋市)

【問い合わせ先】福祉人材センター  
TEL 092(584)3310

**九州中国帰国者作品展**

中国帰国者がつくられた水墨画、  
刺繍、工芸等の作品を展示します。  
水墨画の巨匠 秦生先生の作品も展  
示しています。

期 間 10月19日(木)~24日(火)  
9時30分~18時  
※金・土曜日のみ20時まで

場 所 福岡アジア美術館 8階  
交流ギャラリー

入場料 無料

【問い合わせ先】  
九州中国帰国者支援・交流センター  
TEL 092(589)6667

**寄付・寄贈**

**こくみん共済coop福岡  
推進本部様からの寄贈**

こくみん共済coop福岡推進本部  
様から、福岡県労働者共済生活協  
同組合創立60周年記念事業「つな  
がる ひろがる なかまの輪プロジェ  
クト」の一環としてお米を寄贈いた  
だきました。

この寄贈は令和5年2月を初回と  
し、令和6年1月、令和6年7月にも  
継続して寄贈いただく予定です。

このお米は県内の社会福祉協  
会を通じ、子ども食堂、ひとり親家  
庭等に活用します。

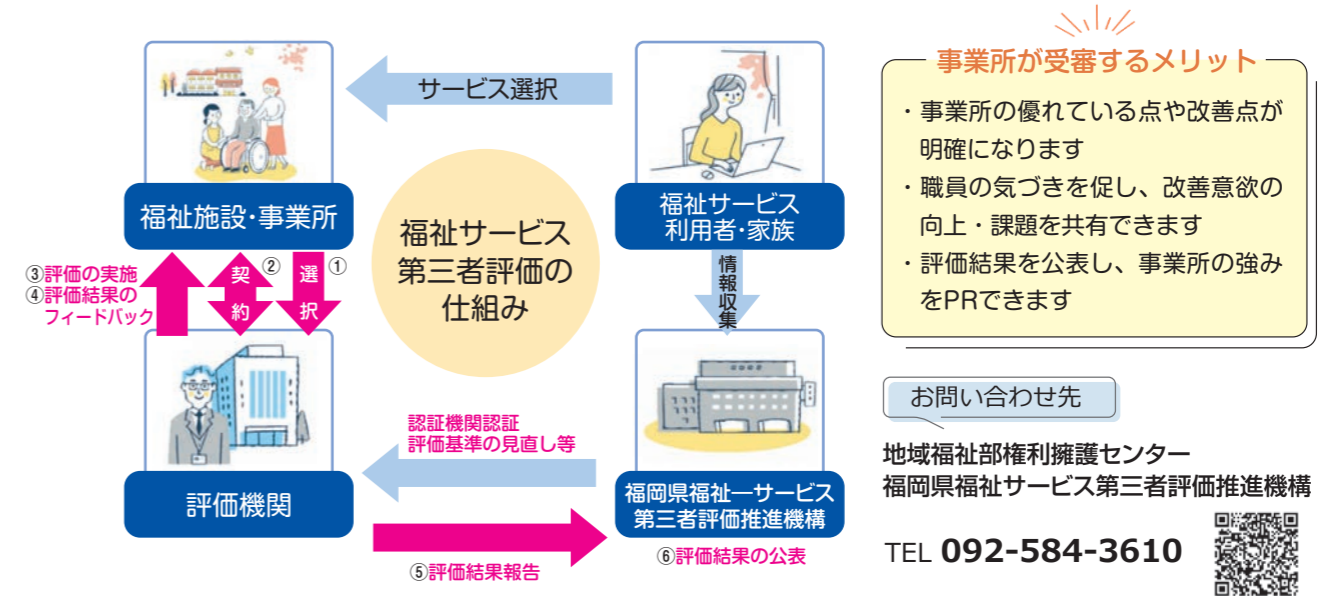
誠にありがとうございました。



**よりよいサービスの提供をめざしてー福祉サービス第三者評価を活用しませんかー**

福祉サービス第三者評価とは、保育所や高齢者施設、障がい者施設等のサービスの質について、公正・中立な第三者評価機関が専門的かつ客観的立場から評価を行う仕組みです。評価結果を公表することにより、事業運営の透明性を確保するとともに、事業所のサービスの質の向上に向けた取組を促進し、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

県内には5つの評価機関があり、受審できる対象サービスや料金等は評価機関によって異なります。受審を希望される場合は、本会ホームページで評価機関の情報を確認のうえ、直接、評価機関にお申し込みください。(これまでの評価結果は、本会ホームページに掲載しております)



**事業所が受審するメリット**

- ・事業所の優れている点や改善点が明確になります
- ・職員の気づきを促し、改善意欲の向上・課題を共有できます
- ・評価結果を公表し、事業所の強みをPRできます

お問い合わせ先  
地域福祉部権利擁護センター  
福岡県福祉サービス第三者評価推進機構  
TEL **092-584-3610**

**福祉・介護職員の福利厚生はソウェルクラブにおまかせください**

**ソウェルクラブ  
(福利厚生センター)では**

社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国で展開し、スケールメリットを活かすことにより、充実したサービスを提供しています。

お問い合わせ  
資料等請求先

社会福祉法人福岡県社会福祉協議会  
TEL **092(584)3330**  
社会福祉法人福利厚生センター  
TEL **0120(292)711**  
ソウェルクラブHP  
<https://www.sowel.or.jp/top.php>

**ソウェルクラブの10大サービス**

- 1 生活習慣病予防検診費助成金 4,000円助成
  - 2 慶事のお祝い品(結婚、出産、入学) 1万円または5千円の商品券を贈呈
  - 3 弔慰金 会員死亡60万円(就業中は180万円) 配偶者死亡10万円
  - 4 健康生活用品給付 毎年全会員に給付
  - 5 永年勤続記念品 勤続5~30年及び35年以上の退職者に贈呈
  - 6 資格取得 5千円相当の記念品
  - 7 各種講習会 受講料・教材費無料
  - 8 ソウェルクラブ『クラブオフ』  
ホテル、レジャー施設、飲食店など20万件以上の優待サービスが利用可能
  - 9 クラブ・サークル活動 1人あたり1,000円助成
  - 10 福岡県独自事業  
    - ★スターバックカード ¥2,000分 >>>>>>> **¥1,400**
    - ★マリンワールド入場券 一般 ¥2,500 >>>>>>> **¥1,500**
    - ★映画観賞券 大人 ¥1,800 >>>>>>> **半額**
    - ★各種コンサートチケット、劇団 四季、博多座等の人気観劇、アンパンマンミュージアム、美術館・博物館等の入場券等 >>>>>>> **約20%~30%割引**
- ※令和4年度事業の一例

**福岡県令和5年7月豪雨災害義援金へのご協力をお願いします**

福岡県共同募金会(以下「本会」という。)では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を令和5年7月18日(火)から令和6年3月29日(金)まで行います。  
なお、本会で取りまとめた義援金については、福岡県災害対策本部へ送金し、福岡県が設置する義援金品配分委員会を通じて被災者に配分されます。

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行(※)		00980-9-213667	福岡県共募 福岡県令和5年7月 豪雨災害義援金
福岡銀行	春日原支店	普通預金 2023227	社会福祉法人 福岡県共同募金会
西日本シティ銀行	春日原支店	普通預金 3130506	

※ ゆうちょ銀行における窓口での振替料金は無料。